



Q1 この病院を選んだ理由は？

薬剤師という職に就くにあたり薬だけでなく、疾患への理解を深め、また多くの患者さんと長い時間かかわっていきたくという気持ちが強くありました。そういった思いを叶えることができると考え当院へ入職しました。また、当院には私が目標としている資格を取得している薬剤師の先輩が勤務していることも決め手となりました。

Q2 今の仕事・業務の魅力

総合病院ですので、様々な職種の方々と一緒に働いています。薬剤師としての視点だけでなく、その職種ならではの視点を知ることができ、学びのきっかけが日常的にある職場だと思います。薬剤科内は職員も増え、色々なことに挑戦ができる環境になっていることも魅力の一つだと思います。

Q3 今後の目標・夢

当初の目標であった感染の認定を1つ取得することができました。今後はその認定を活かした活動を行いたいと考えています。また、私が入職して5年が経ち、多くの後輩ができました。自分だけでなく後輩と共に成長できればと思っています。

Q4 後輩に伝えたい事

勉強や就職など悩みは尽きないと思いますが、1つずつ解決していけば大丈夫だと思います。今後自分がしたいこと、なりたい薬剤師像を考えたときに当院に少しでも興味をお持ちいただけましたら、ぜひ一度見学に来てください。

募集要項

対象 2026年3月卒業見込者

2025年2月に病院HPに掲載いたします。

朝日野総合病院HP
採用情報 check!



応募書類	① 履歴書 ② 成績証明書 ③ 卒業見込証明書
試験内容	面接
給与	初任給：4,100,000円(年俸制) 昇給：年1回
勤務時間	週40時間のシフト制 ① 8時30分～17時30分(平日) ② 8時30分～12時30分(土曜など)
休日	年間休日数：107日 年末年始休暇：5日 夏期休暇：1日 等 有休休暇：10日(初年度 入職6ヶ月後)
提出先	【朝日野総合病院 総務課】 〒861-8072 熊本市北区室園町12番10号
問合せ	TEL 096-344-3000(代表) メール：js@asahino.or.jp 〔担当〕総務課長 佐々木

詳細は病院ホームページをご覧ください。
施設見学・インターンシップも随時受け付けています!



2026年度



薬剤師 求人案内

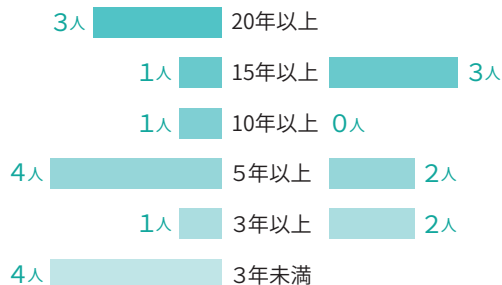


医療法人 朝日野会
朝日野総合病院

数字で見る薬剤科

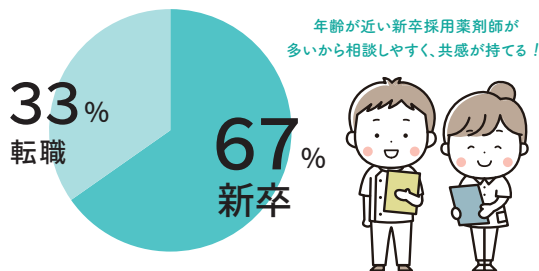
2025年1月時点

一 経験年数 一



【2025年度入職予定】女性2名、男性1名

一 転職・新卒 一



職種別の勤務実績

	職員数		残業時間 (月平均)	有給消化率
	常勤	非常勤		
薬剤師	17名	4名	2.4時間	92%
テクニシャン [※]	3名	1名	0時間	85%

※調剤助手を調剤の専門家としてテクニシャンと呼称しています。

育児休暇取得実績

		2018年度	2022年度	2023年度	2024年度
		女性	人数	1名	1名
	復帰	常勤・時短	非常勤	常勤・時短	常勤・時短
男性	人数	—	—	1名	—
	復帰	—	—	常勤	—

薬剤科業務の紹介

1日の業務

2年目薬剤師

- 8:30 朝礼
- 8:45 調剤業務
→メインは外来調剤対応です。入院患者さんの調剤も行います。
- 11:45 昼休憩
- 12:45 調剤業務
- 14:00 病棟業務
→無菌調製などは、ローテーションでこの時間に対応しています。
- 17:00 調剤業務
→終業に向けて片付けなども行います。
- 17:30 終礼



●毎日2名ずつ、30分程度の遅番対応を行っています。 ●時間外は当直体制をとらずに、オンコールで対応しています。

6年目薬剤師

- 8:30 朝礼
- 8:45 病棟業務
→メインは病棟業務です。持参薬鑑別や退院指導を行っています。
- 11:45 調剤業務
→休憩で人数が少ない間、調剤業務に入ります。
- 13:00 昼休憩
- 14:00 病棟業務
→午後でもメインは病棟業務です。新規入院の方の初回指導をはじめとして、薬剤管理指導を行っています。
- 17:30 終礼



テクニシャン



服薬指導(入院)



多職種連携

テクニシャンの業務内容は、主に医薬品の検品・補充や発注業務、入院病棟の配薬カートのセットなどがあります。また、調剤支援システムを用いて内服薬と注射薬の取り揃えをしたり、分包機を操作し、一包化したりするなどの業務にも携わっています。薬剤師の日々の業務がより円滑に進むように、サポートしています。

整形外科メインの急性期病棟の担当をしています。日々患者の入れ替わりがあり、また当日の緊急手術も多く術前に休薬が必要な薬剤のチェックや再開の確認などが大変ですが、限られた時間の中でどのように薬剤師として介入していくかを日々考えています。病棟では患者さんはもちろんのこと、医師や看護師などの医療職とのコミュニケーションが重要です。他職種に患者さんの薬の情報を伝える際は可能な限り分かりやすく簡潔に伝えることを心がけています。薬のことで悩みや不安を抱えている患者さんは多く、それを解決していくことで患者さんから感謝の言葉を頂けることが一番のやりがいです。

病院薬剤師の業務の特徴として多職種連携があります。病院では普段から様々な職種と関わって仕事をしますが、特に専門性を発揮するのがチームとして活動する場合があります。朝日野総合病院にもICT、NSTなど様々なチーム、委員会があり薬剤師が参加して活躍しています。その中でも当院の特徴は、骨粗鬆症リエゾンサービス(OLS)チームの活動が熊本県下有数の活発さを持つことです。最近注目されている骨粗鬆症ですが、脆弱性骨折により予後が悪くなるのが知られており、予防が重要な疾患です。しかしまだまだ認知度が低く、治療薬が特徴的なため治療継続率が低いという特徴があります。OLSは薬剤師として職能を発揮できる絶好の場であり、チームの要として活動しています。